



宙に近い天文部

2024 Winter 天体イベントスケジュール

	日程	時間	イベント	展望台
①	11/5(火)	日没後	月と金星が接近	
②	11/9(土)	18:00 ~ 20:00 18:30 ~ 20:30	・「2024年冬の星空」のお話 ・星空観望会(月・土星・冬の星座など)	天体解説有! 天体望遠鏡登場!
③	11/10(日) ~11(月)	日没後	月と土星が接近	
④	11/17(日)	20:00頃	月と木星が接近	
⑤	11/19(火)	20:30 ~ 21:30	・観月会	天体望遠鏡登場!
⑥	11/20(水)	22:00頃 ~明け方	月と火星が接近	
⑦	12/4(水)~5(木)	日没後	月と金星が接近	
⑧	12/7(土)	18:00 ~ 20:00 18:30 ~ 20:30	・「2024年冬の星空」のお話 ・星空観望会(月・土星・木星・冬の星座)	天体解説有! 天体望遠鏡登場!
⑨	12/8(日)	日没後	土星食	
⑩	12/14(土)	未明	ふたご座流星群 極大	
⑪	12/14(土)	日没後	月と木星が接近	
⑫	12/17(火)	19:00 ~ 20:00	・観月会	天体望遠鏡登場!
⑬	12/18(水)	日没後	月と火星が接近	
⑭	12/25(水)	未明	スピカ食	

※天候や営業の状況により中止となる場合や、開催時間変更の場合がございます。



空中庭園
KUCHU TEIEN



宙に近い天文部

2024 Winter 天体イベントスケジュール

① 11/5(火)月と金星が接近



■夕方の南西の低い空で、細い月と金星が接近！細い鎌型の月は、影の部分もうっすらと輝いているのがわかります。「地球照」と言われる現象です。日の入り30分程経ったまだ明るさの残る南西の空に、マイナス4等級の明るい金星を探しましょう。

② 11/9(土) 空中庭園☆星空 CLUB

展望台から
見られる！

■「冬の星空」のお話

天文のスペシャリストによるお話。今月のテーマは、「2024年冬の星空」。冬の夜空を彩る旬な星座・今月立て続けに月と接近する惑星など、星空の話題をわかりやすく楽しくご紹介します。お話を聞いた後は、屋上に特設の天体望遠鏡で星空観測を楽しみましょう。

18:00～20:00 開催予定(40F) 1回約20分・定員10名の入れ替え制

■「星空観望会」対象：月・土星・冬の星座

夜空を彩る美しい月や見ごろの惑星たち・冬の星座の共演を、特設の天体望遠鏡で観測してみましょう。
18:30～20:30 開催予定(屋上「ルミ・デッキ」) 定員10名の入れ替え制

③ 11/10(日)～11(月)月と土星が接近



■宵の南の空で、上弦を過ぎた月と0.8等の土星が並んで見えます。10日には、土星の西側にいた月が、11日には東側に来ています。土星の真下には、秋の星座の中で唯一の1等星、「秋のひとつ星」や「南のひとつ星」と呼ばれるみなみのうお座のフォーマルハウトが輝いています。秋の夜空に清々しく輝くひとつ星を是非見つけてみましょう。

④ 11/17(日)月と木星が接近



■東の空には、満月を1日過ぎた明るい月と、マイナス2.8等の木星が昇り、明るい夜空となります。月と木星が高い空に昇る頃には、東の空にはマイナス0.2等の火星も昇り、冬の星座たちと共に夜更けの東の空は賑やかに☆

⑤ 11/19(火) 観月会 [大阪の月の出 19:45]



■澄んだ冬の夜空に輝く明るい月の表面を特設の天体望遠鏡で観察してみましょう。

展望台から
見られる！



※天候や営業の状況により中止となる場合や、開催時間変更の場合がございます。



空中庭園
KUCHU TEIEN



宙に近い天文部

2024 Winter 天体イベントスケジュール

⑥ 11/20(水) 月と火星が接近



■午後10時過ぎに、東の空に下弦を4日後に控えた月が、すぐ下に0.3等星の赤い火星を引き連れて昇ってきます。一晩中寄り添い、明け方に近づくほど距離が狭まってきます。月には、1970年代のアポロ計画以来となる人類を送り込む計画が進められていて、日本人宇宙飛行士2人の枠が獲得されたとの報道がありました。また、火星は、人類の移住先として注目され、アメリカや中国の探査機が送り込まれていますが、日本も火星の衛星に探査機を着陸させて、サンプルリターンを行う計画を発表しています。そんな夢に想いを馳せながら、月と火星を眺めてみてはいかがでしょうか。

⑦ 12/4(水)～5(木) 月と金星が接近



■日の入り後の南西の空、宵の明星・金星がとても明るく輝いています。4日、金星の右下に細い月が位置し、5日には月と金星が接近！夕焼けに染まる空で、マイナス4.2等で鋭く輝く金星と細い月が並ぶ様子は必見です！

⑧ 12/7(土) 空中庭園☆星空 CLUB

展望台から
見られる！

■「冬の星空」のお話

天文のスペシャリストによるお話。今月のテーマは、「2024年冬の星空」。澄んだ冬の夜空を彩る星座や見ごろの惑星、3大流星群の一つ「ふたご座流星群」・翌日に起こる「土星食」など、星空の話題をわかりやすく楽しくご紹介します。

お話を聞いた後は、屋上に特設の天体望遠鏡で星空観測を楽しみましょう。

18:00～20:00 開催予定(40F) 1回約20分・定員10名の入れ替え制

■「星空観望会」対象：月・土星・木星・冬の星座

冬の夜空を彩る美しい月や見ごろの惑星たち・冬の星座の共演を、特設の天体望遠鏡で観測してみましょう。

18:30～20:30 開催予定(屋上「ルミ・デッキ」) 定員10名の入れ替え制

⑨ 12/8(日) 土星食 [18:20頃月の裏側に潜入～18:46頃出現]



■日の入り後の南の空高くに目を向けると、ほぼ半月の月の上を土星がかすめて通過し、30分程の間、月の裏側に隠れる現象「土星食」が見られます。土星の輪は、来年3月に起こる輪の消失を前に、とても薄く見えています。明るい惑星が月に隠される様子を、日本の広い範囲で見ることができます。

⑩ 12/14(土) ふたご座流星群 極大



■3大流星群の一つ☆1年で最も多くの出現が期待出来る流星群ですが、残念ながら今年は満月の1日前の月が、流星の煌めきをかき消してしまいそうです。それでも、13日深夜から14日未明には1時間に多くて30個程、夜空の暗い場所で流れ星を見ることが出来るかもしれません。この群はピークの後、明るい流星が増える傾向があるので、14日夕刻から夜半にかけて、もしかすると明るい流星が見られるかもしれません☆

※天候や営業の状況により中止となる場合や、開催時間変更の場合がございます。



宙に近い天文部

2024 Winter 天体イベントスケジュール

11 12/14(土)月と木星が接近



■日の入り後の南東の空で、とても明るく輝いている木星はマイナス2.8等の明るさで、1等星が多い冬の星座の中でも大きな存在感を放っています。14日には、月と木星が接近！木星の右にはおうし座のアルデバランが赤く光っていて、直角三角形を作ります。満月前の明るい月にも負けない木星も肉眼で見つけてみましょう。14日夜に木星の西側に見えていた月は、15日の夜には東側へと移動していきます。月の位置にも注目です！

12 12/17(火)観月会 [大阪の月の出 18:33]



■今年ラストの観月会は、火星や木星が近づく中で、美しく輝く月の表面を、空に近い空中庭園から眺めてみましょう。

展望台から
見られる！



13 12/18(水)月と火星が接近



■マイナス0.9等の赤い火星は、明るい月と並んでも輝いて見えます。12月末には、マイナス1.2等になり明るさを増していく火星もぜひ探してみましょう。

14 12/25(水)スピカ食 [3:10頃月の裏側に潜入～4:14頃出現]

■未明に今年2回目の「スピカ食」が起こります。おとめ座の1等星スピカが月に隠される現象で、今回は下弦を過ぎて半月よりもやや欠けた月に隠されます。月の欠け際から離れた暗い場所から星が現れる様子が楽しめそうです。肉眼でも観察しやすい星食をしばしば起こす貴重な星の一つです☆

※天候や営業の状況により中止となる場合や、開催時間変更の場合がございます。



空中庭園
KUCHU TEIEN